

決議第 4 号

議案第 27 号令和 4 年度延岡市一般会計補正予算に対する附帯決議

議案第 27 号令和 4 年度延岡市一般会計補正予算に対する附帯決議を次のように付する。

本案のうち「歴史・文化ゾーン内駐車場管理システム・看板等整備事業」については、予算の減額修正の議決から 1 か月も経たないうちの再提案にも関わらず事業費が増加しているなど、事業内容の精査を十分に行った上での提案であるとは言えず、すでに事業費が多額であり、今後のさらなる増額も否定できない本事業に現時点で着手することは適当ではない。

さらに、市当局において、歴史・文化ゾーン内の駐車台数が 88 台分不足すると試算している中で、駐車台数が増えない本事業を実施しても、広域表示板には全ての駐車場が満車であるとの情報のみを提供する形になることも想定され、根本的な渋滞防止対策とならず、地域住民の不安解消に疑問が残る。

以上のことから、今後の歴史・文化ゾーン内の渋滞防止対策等について、下記の事項を実施するよう強く要望する。

記

1. 周辺道路の渋滞防止や来訪車両の生活道路への進入防止への根本的な対策には、駐車台数不足の解消が不可欠である。既存駐車場の立体化等や市有施設・機能の再配置、周辺民有地の借用等による市道本小路通線沿いを中心とした新たな駐車場の確保を行うこと
2. 特に、地域住民からの要望が強い市道本小路通線の東進車両の右折対策について、優先度が高い岡富中学校体育館前信号機の時差式や矢印方式等への運用の変更を延岡城・内藤記念博物館の開館に備え速やかに取り組むとともに、右折レーン設置の検討や図書館東側及び南側の歩道の拡幅・新設等についても、早急な対策を行うこと
3. 当面の間は、議決済の予算による案内看板設置や誘導員配置による対応を行いながら、上記 1, 2 を優先して実施し、その効果や来訪者の実績に基づく将来予測を十分勘案した上で、改めて本事業の必要性を含めた駐車場対策のあり方の再検討を行うこと

以上、決議する。

令和 4 年 7 月 29 日

延 岡 市 議 会